「選挙市民審議会：第１部門」論点メモ

2016 年 4 月 11 日/小林

１．選挙運動期間

● 設けた理由・目的：選挙の公正、候補者間の平等を確保するため

○ 公費負担（＋自費負担）と規制により、公正、平等を確保しようとして、特に法規制のない「政治活動」と規制だらけの「選挙運動」とに区分されているという認識でよいか

○ また、事前運動の規制を受けないように、自費により「政治活動」として実質「選挙運動」が行われており、公正、平等が確保されているとはいえないという認識でよいか

○ 上記のような認識でよいのであれば、「政治活動」での規制を明確にして「選挙運動」規制を撤廃するべき、という認識でよいか

➔ 「政治活動」での規制を明確にするとすれば、何をどのように明確にすべきか具体的な検討、提示が必要

２．文書図画による選挙運動の自由化（特に地方選挙におけるマニフェスト）

３．戸別訪問の自由化

４．立会演説会の復活と第３者主催を含めた演説会の自由化

５．インターネット選挙運動の全面自由化（特に政党・候補者以外の者による運動）